

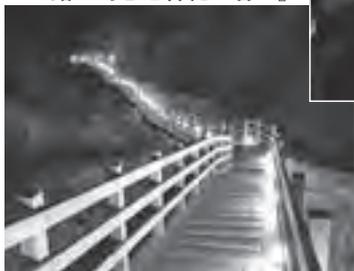


▲大勢の観客の前で舞を披露する『湯鬼神』



▲人々の幸せを願い、手筒花火を打ち上げる『湯鬼神』

▼通年開催している『鬼火の路～幻想と神秘的谷～』



夜空を彩る手筒花火

6/1

地獄の谷の鬼花火

6月1日(土)、地獄谷展望台で、『地獄の谷の鬼花火』(登別国際観光コンベンション協会・市主催)のオープニングイベントを開催しました。

昨年度は4万人近くの観光客や市民を魅了した『地獄の谷の鬼花火』は、今年で14年目を迎え、7月26日(金)までの毎週木・金曜日、20時30分から開催しています。

この日は、同協会の唐神昌子会長による開会宣言とともに、登別温泉の守り神『湯鬼神』が登場。道内外から訪れた約2千500人が熱い視線を送る中、太鼓や鈴の音に合わせた勇壮な舞と、8尺にも及ぶ火柱を夜空に吹き上げる圧巻のパフォーマンスを披露し、会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

また、地獄谷遊歩道を照らす『鬼火の路』幻想と神秘の谷』が21時30分まで実施されており、多くの観光客が鬼花火の余韻に浸りながら幻想的な風景を楽しんでいました。

札幌圏からのサポート

6/6

札幌のほりべつ会令和元年度定期総会 第26回札幌のほりべつ交流プラザ

6月6日(木)、札幌市内の株式会社開発工営社会議室で、札幌圏に居住し、登別にゆかりのある人たちが構成する『札幌のほりべつ会』の定期総会と、市からの情報提供や札幌圏と登別の事業者との経済交流を行う『札幌のほりべつ交流プラザ』(同会主催)が開催されました。

定期総会では、ふるさと登別の応援団としてさらなる発展に向けた取り組みを協議した同会。新たに会長に選任された植田健二会長は、「新たな会員の募集にも取り組み、会全体の力強さを増していきたい」と意気込みを語っていました。



▲携帯電話で、通信先の通訳者と英語で会話した訓練

遠くの国から来た方に 安心をお届け

6/1

三者間同時通話システム導入

6月1日(土)、登別市消防では、近年増加する外国人観光客に対応するため、『三者間同時通話システム』を導入しました。

外国人観光客からの119番通報や救急現場において、より迅速かつ的確な対応ができるよう、17カ国語に対応する通訳者と24時間通信可能な体制を整備し、現場や傷病の状況などの確認や意思疎通を多言語で行います。

6月3日(月)・4日(火)には、同システムを活用した訓練を実施。より安全で安心な観光地を目指します。



▲会長に新任され、抱負を語る植田健二会長